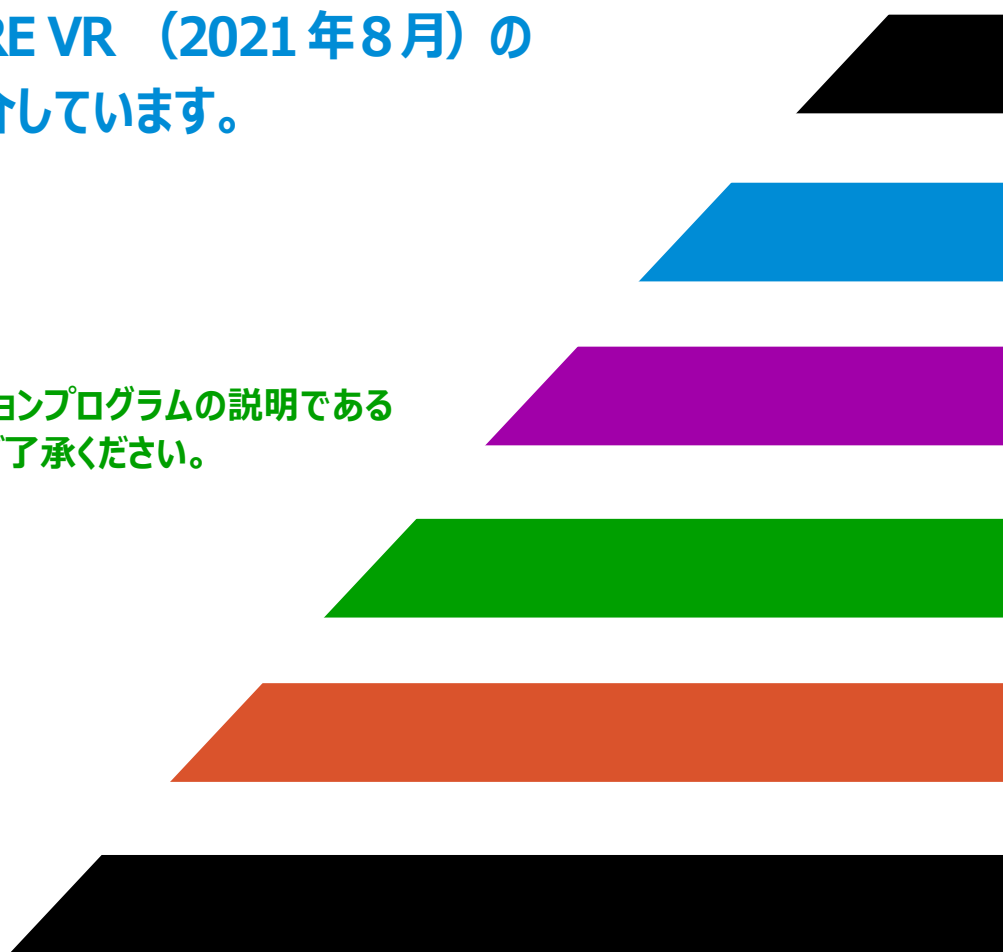


新機能 (2021年8月)

TREND-CORE VR (2021年8月) の
新機能をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。



目次 TREND-CORE VR 新機能 (2021年8月)

1	CIMPHONY Plus連携 – 差分ダウンロード対応 _____	1
2	CIMPHONY Plus連携 – リンクフォルダ対応 _____	1
3	CIMPHONY Plus連携 – アップロード対応 _____	2
4	撮影画像へのメタデータ追加 _____	2

1 CIMPHONY Plus連携 – 差分ダウンロード対応

CIMPHONY Plus コラボレーションにおいて、差分ダウンロード機能を実装しました。

VR 設定を再ダウンロードする際、変更されていないファイルはダウンロードから除外してダウンロード時間を短縮します。

- ・ 事前に [ルームの指定] で VR 設定を指定して VR データをダウンロードしておくことにより、コラボレーション開始にかかる時間を短縮することができます。（VR データが大きい場合に特に有効です。）
- ・ コラボレーション中に VR データが追加された場合は再度 [ルームの指定] が必要になりますが、追加された VR データのみダウンロードするため、ダウンロード時間が短縮されます。

2 CIMPHONY Plus連携 – リンクフォルダ対応

CIMPHONY Plus コラボレーションにおいて、リンクフォルダ機能に対応しました。

CIMPHONYPlus で「VR リンク」を作成すると、TREND-CORE VR で「リンクフォルダ」として機能します。

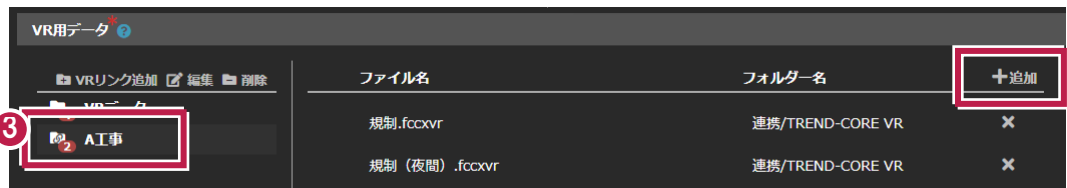
リンクフォルダ内に VR データを登録すると、TREND-CORE VR のコラボレーション時に、同一視点のまま他の VR データに切り替えることができます。（日中/夜間のデータや、施工前/施工中/施工後のデータの切り替えなどに使用します。）

●リンクフォルダの作成方法

- 1 [VR リンク追加] をクリックします。
- 2 リンクフォルダの名称を入力します。



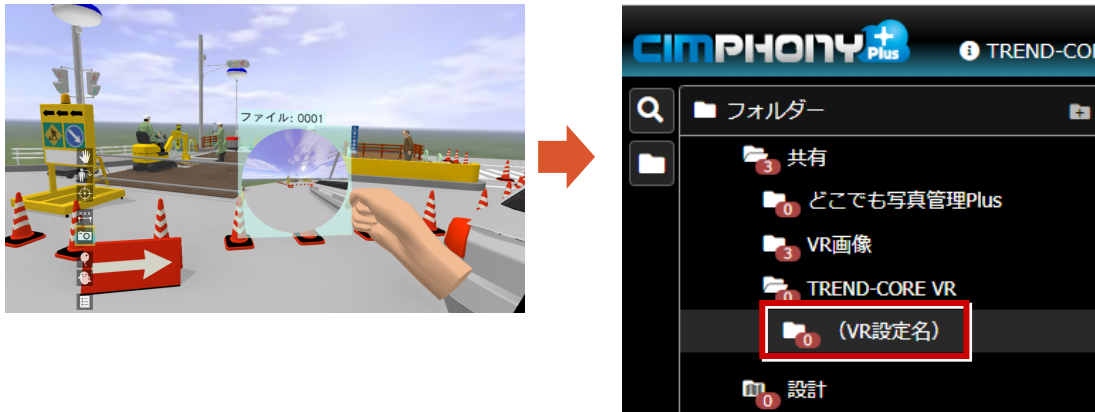
- 3 作成したリンクフォルダを選択して、VR 用データを登録します。



3 CIMPHONY Plus連携 – アップロード対応

CIMPHONY Plus コラボレーションにおいて「撮影」コマンドで作成した画像を、CIMPHONY Plus に自動アップロードする機能を実装しました。

TREND-CORE VR で「撮影」した画像は、CIMPHONY Plus の「共有」フォルダーの「TREND-CORE VR」フォルダーに「(VR 設定名)」のサブフォルダーが作成され、自動でアップロードされます。



この時画像ファイル名は、

(VR データファイル名) . (撮影したユーザーのアバター名) . (撮影年月日時刻) . (連番 2 桁) .jpg
になります。

VR リンクフォルダ内の VR データで「撮影」した場合は、

(リンクフォルダ名) . (VR データファイル名) . (撮影したユーザーのアバター名) . (撮影年月日時刻) . (連番 2 桁) .jpg
になります。

また画像ファイルは、撮影したユーザーの PC 内の「CIMPHONY Plus 出力フォルダー」にも保存されます。

「CIMPHONY Plus 出力フォルダー」は、TREND-CORE VR の [ツール] – [オプション] の [一般] タブで設定します。

初期値 : C:¥Users¥ (Windows アカウント名) ¥Documents¥TREND-CORE VR¥CIMPHONY Plus¥Outputs

4 撮影画像へのメタデータ追加

「撮影」コマンドで作成した全天球画像にメタデータを追加しました。

Google フォト / Facebook サイト等にアップロードする際に、全天球画像として自動認識されます。